

幕府はキリスト教に対する警戒感を持っていました。そこで1635年徳川家光はさらにキリスト教の取り締まりを強化し、日本人が海外へ行くことも、帰国することも禁止しました。

漂流して一度国外に出てしまった人も日本に戻ることも出来なかった。



1637年、九州の島原(長崎県)と天草(熊本県)で大規模な百姓一揆が occurred。(リーダー **天草四郎** 16才)

幕府はオランダの助けを借りてやっと4ヶ月後に一揆を鎮圧した。

これを **島原・天草の一揆** という。

幕府はキリシタンたちに対して、信者の祭見のために、キリストやマリアの像を踏ませる **絵踏(踏絵)** を実施して、キリスト教徒でないことを証明させた。そしてすべての人を仏教の信者にさせて仏教の寺に登録させた。( **寺請制度** )

この一揆をきっかけに、スペインとの貿易中止に次いで1639年 **ポルトガル** との貿易も中止します。

ただし、キリスト教布教に関わらなかった **オランダ** と **中国(清)** のみ貿易を認めました。

オランダの商館を平戸から **出島** に移した。  
人工の島

海外の事情を記した **風説書** の提出を命じて多くの海外情報を手にしました。